

## 米国国立公文書館所蔵 米国国務省公文書 (日本・中国・朝鮮関係)

National Archives and Records Administration.

Official Records of the United States Department of State.

### マイクロ資料室

米国国立公文書館では、1940年以来、保存と利用を目的として、学術的・資料的価値の高い所蔵文書のマイクロフィルム化を行っている。1983年の時点で、完成したマイクロフィルムは、約2,600タイトル、13万4,000リール余りに上る。その中には、議会、国務省をはじめ司法省、財務省など殆どすべての省の文書の他に、各種行政委員会、外国政府の文書等が含まれる。収録期間は、1716年から1970年代末まで、対象とする地域は、アメ

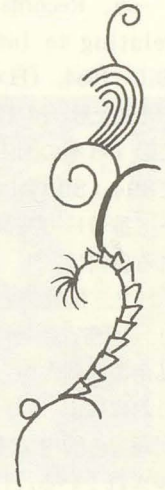
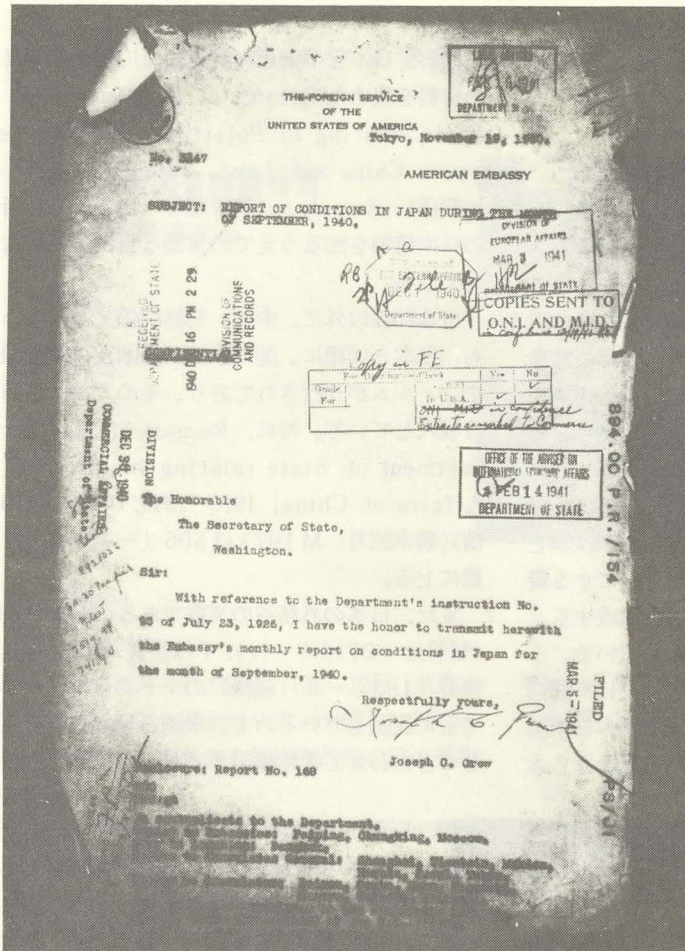
メカ、ヨーロッパ、極東、ラテンアメリカ、アフリカを網羅し、主題も政治、経済、法律、歴史、民族問題と多岐にわたる。これらのマイクロフィルムは一般に販売されており、誰でも購入することができる。

National Archives 所蔵文書のうち、Official Records of the U. S. Department of State (米国国務省公文書) は、国務省から在外公館にあてた訓令、在外公館から国務省に出された報告書、在米外国公使館からの覚書、米国と他国あるいは米国以外の二国間、多国間の政治関係に関する文書、在外大・公使館文書、在外領事館の文書、米国が参加した国際会議・委員会の記録などからなっている。米国国務省の公文書は、米国外交文書 (Foreign Relations of United States) を編纂する際の基礎となる第一次資料である。政府が刊行する公式の外交文書に採録されなかった膨大な原資料を含む貴重な外交資料が網羅されている。現在、国務省公文書は800タイトルを超え、国立公文書館マイクロフィルム出版物全体の30%以上を占めている。

当室に所蔵する国務省公文書のマイクロフィルムは、主として日本、中国、朝鮮に関するものである。日本関係公文書は、現在までのところ、幕末の1855年 (安政2年) から、占領期・戦後体制確立期の1954年 (昭和29年) までが刊行されており、主題別に、日米政治関係、日本の国内事情、日中関係等に分かれる。ただ、1906年までの文書は、国務省の文書分類法が十進分類になっていないため、文書の性格 (訓示、覚書など) によって整理され、それぞれ年月日順に配列されており、



「Prologue」の表紙  
National Archives から出ている季刊雑誌。  
National Archives の活動の他、マイクロ  
化の計画、刊行情報等が随時掲載される。



1940年9月19日付、駐日大使 J.C. グルーから國務省宛に送られた、日本の国内状況に関するレポート。(「日本の国内事情」のフィルム所収)

Diplomatic Instructions of the Department of State Japan, 1855-1906. 5 reels.  
 Despatches from United States Ministers to Japan, 1855-1906. 82 reels.  
 Despatches from United States Consuls in Kanagawa, Japan, 1861-1897. 22 reels.  
 Notes from the Japanese Legation in the United States to the Department of State, 1858-1906. 9 reels.  
 Records of the United States Legation in Japan, 1855-1912. 94 reels.  
 などのように、個別のタイトルがつけられて刊行されている。

1910年以降の國務省公文書は、國務省独自の十進分類法 (Department of State Decimal

File)によってそれぞれの主題ごとに分類・整理されて収録されている。

Records of the Department of State relating to Political Relations between the United States and Japan, 1910-1954. (日米政治関係) 52 reels. (請求記号 M174)  
 この「日米政治関係」のフィルムには、Decimal File (D. F.) で700番台 (1950年以降600番台に変更) の外交・領事機関を含む諸国間の政治関係および二国間の条約、会議、協定の項に分類される文書が収録されている。具体的には、日米間の戦争、平和、同盟、軍縮、国境問題に関する条約や協定、治外法権、移民と帰化などに関する文書である。例えば、占領期の日米関係に関する未公開文書、サンフランシスコ条約・日米安全保障条約の締結交渉の資料等、両国間の政治・外交史

を形成する第一次資料が収められている。

一方、Records of the Department of State relating to Internal Affairs of Japan, 1910-1954. (日本の国内事情) 186 reels. (請求記号 M 173)

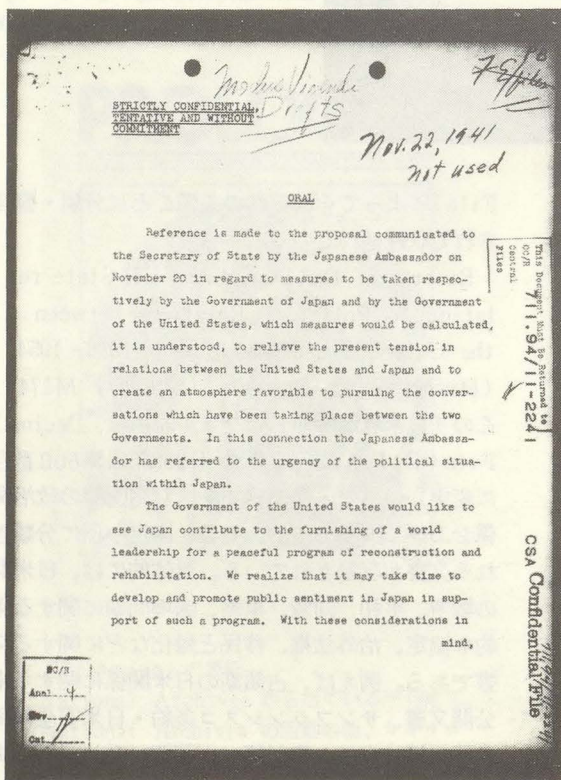
この「日本の国内事情」のフィルムには、D. F. で894 (800台は各国の国内事情、94は日本のコード番号) の文書が収録されている。ここに含まれる資料は、1. 国務省から駐日米国公館への訓示、2. 国務省と駐米日本公館とのあいだの覚書、3. 国務省職員による覚書、4. 政府の他の省や、私企業・個人からの書簡などからなっており、その内容によって、政治、経済、産業、軍事、社会問題等の国内事情の分類項目に分けられてファイルされている。日本の政治・社会状況を米国がどのように把握・分析していたかを明らかにする資料であり、それらは米国が対日政策を形成する上での基礎資料として大きな意味を持っている。また、戦災による焼失や廃棄などによって日本国内の資料が乏しい戦時期について、米国側の日本国内事情に関する資料が容易に見られる意義は大き

い。

なお、日本と中国との政治関係に関する国務省の資料を集めた Records of the Department of State relating to Political Relations between China and Japan, 1930-1944. (日中政治関係) 96 reels. (請求記号 M 200) も当時の日中情勢を知るうえでの重要な資料が多数含まれている。

日本関係以外に、中国、朝鮮関係文書についても、日本と同様に、国内事情、各国との政治関係のフィルムが刊行されており、その大部分を当室は購入している。特に、Records of the Department of State relating to Internal Affairs of China, 1910-1949. (中国の国内事情) (請求記号 M 197) は506リールと膨大な数量に上る。

また、日本の外務省の文書である「外務省文書」(戦前分 2116リール)、「外務省 外交記録」(戦後分 152リール 継続)のマイクロフィルムも当室に収蔵しているので、米国と日本の外交文書をつきあわせて比較検討することも可能である。



緊張緩和の為に、日米開戦の直前まで続けられた日米会談に関する国務省の機密資料の一部。日付は1941年11月22日 (「日米政治関係」のフィルム所収)